

定禅寺通から描く杜の都の未来のかたち

大規模社会実験が始まります

にぎわいと交流を生み出す空間に

「杜の都・仙台」を象徴する、緑あふれる定禅寺通。美しいケヤキ並木に囲まれた立地から、東北・全国に文化を発信するイベントなどの舞台として、市民に親しまれてきました。

市では、このエリアを仙台都心の重要な拠点の一つと位置付け、勾当台公園・市民広場の再整備や市役所本庁舎の建て替えなどと併せて一体的に、その特色を生かしたまちづくりを進めています。

また、民間でも、定禅寺通の持つ魅力を高め、にぎわいを生み出すという動きが生まれています。平成30年には、周辺地域の町内会・地権者・テナント・まちづくり団体等からなる定禅寺通活性化検討会を設立。まちづくりを担うさまざまな人々と、事務局である市や商工会議所が一丸となって、定禅寺通を人が訪れ、滞在したくなるエリアにしようという検討を重ねてきました。中でも、道路空間の利活用は、定禅寺通ににぎわいと交流を生むだけでなく、周辺地域や仙台都心全体の活性化にもつながる取り組みとして、ワーキンググループによる検討や社会実験による実証が行われています。

大規模社会実験から描くまちづくり

定禅寺通エリアの将来を見据え、8月20日から9月7日までの19日間、定禅寺通の車線を一部削減し、歩行者空間を拡大する大規模な社会実験を実施します。実験では、車線削減による交通への影響と、道路空間の利活用が都心部の人の流れにもたらす変化等を調査します。

この期間中、拡張される歩行者空間には、訪れた人が定禅寺通エリアの滞在を楽しむことができるよう、自由に座れるテーブルセットやベンチを設置。さらに、仙台・東北の特産品の販売、アウトドアやアートの体験展示などの催しを、感染症の専門家が監修する新型コロナウイルス対策を講じた上で行います。

検討会では、実験の検証結果や市民の皆さんから寄せられた意見も踏まえながら、定禅寺通エリアのまちづくりの方針を、本年度末までにまとめる予定です。

今回の大規模社会実験を通して市民の皆さんが感じたことが、将来にわたってにぎわい続けるまちをつくるヒントとなります。ケヤキ並木の下で、杜の都の未来を共に思い描いてみませんか。

社会実験を体感しよう！

いつもと違う定禅寺通を楽しみながら過ごしてみませんか。

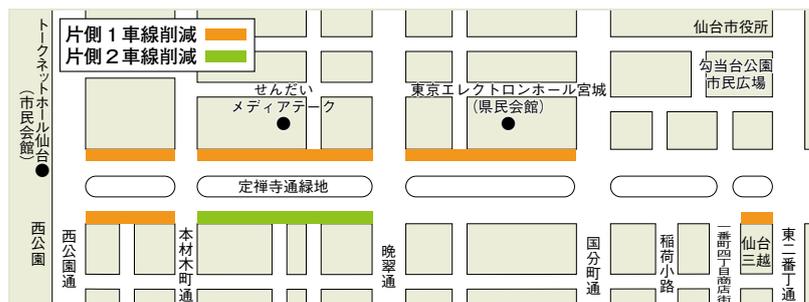
- 期間＝8月20日(金)～9月7日(火)
- 地域の特産品などを販売するマルシェ、キッチンカーによるフード販売、移動図書館(ケヤキの下で読書)など
- 社会実験や交通規制等、詳しくはホームページ(「JOZENJI STREET ストリート STREAM」で検索)をご覧ください



定禅寺通の交通規制を行います

● 規制期間＝8月17日(火)～9月10日(金)

※実験前後の8月17日(火)～19日(木)、9月8日(火)～10日(金)は一部時間帯、実験中の8月20日(金)～9月7日(火)は終日、歩道側の車道が部分的に削減されます



自転車の歩道での押し歩きまたは車道走行にご協力をお願いします

掲載内容は7月16日現在。新型コロナウイルス感染症の状況によって、内容を変更する場合があります。この特集に関するお問い合わせは、定禅寺通活性化室 ☎214・1255、FAX214・8037